

2020年度（令和2年度）活動報告

I. シンポジウム等

・ CPAS 公開シンポジウム

「分断のアメリカを展望する」

日時：2020年10月3日（土） 14:00～17:00

場所：Zoom ウェビナー

報告：土屋和代（東京大学）

「ブラック・ライヴズ・マター運動と岐路に立つアメリカ社会
——1992年ロスアンジェルス蜂起から考える」

森山貴仁（東京大学）

「サンベルトの青い郊外——トランプ政権期におけるカリフォルニア州オレンジ郡」

中山俊宏（慶応義塾大学）

「トランプを超えるトランプ主義、サンダースを超えるサンダース主義
——二極分化の質的変化が起きているのか」

コメント：中野耕太郎（東京大学）

司会：橋川健竜（東京大学）

主催：CPAS

共催：東京大学グローバル地域研究機構（IAGS）

II. 研究プロジェクト

・ 科学研究費基盤研究（C）

「現代アメリカにおける国家・市民関係の史的転換——1960～70年代の変容を中心に」

（代表：中野耕太郎）

・ 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究（C）

「東アジアの高齢者就労の比較社会学」（代表：瀬地山角）

日本学術振興会科学研究費補助金・研究活動スタート支援

「米国市民の国際貿易協定に対する反発——一般的信頼による貿易選好の形成」

（代表：藤田将史）

III. 出版活動

・ 『アメリカ太平洋研究』第20号（2020年3月）

IV. センター所属教員の2020年1月から12月までの研究活動

橋川健竜

[書籍 (翻訳)]

- ・アラン・テイラー (著)、橋川健竜 (訳)『先住民 vs. 帝国 興亡のアメリカ史 北米大陸をめぐるグローバル・ヒストリー』(ミネルヴァ書房、2020年)。

[学会活動等]

- ・日本アメリカ史学会運営代表 (2019年10月1日～2020年9月30日)
- ・日本アメリカ史学会運営副代表 (2020年10月1日～)
- ・アメリカ学会常務理事および *The Japanese Journal of American Studies* 編集委員会委員長 (2020年6月1日～)
- ・初期アメリカ学会理事 (2020年度)
- ・企画および司会: 「分断のアメリカを展望する」CPAS 公開シンポジウム、Zoom ウェビナー、2020年10月3日。

[その他の執筆]

- ・「訳者あとがき」アラン・テイラー (著)、橋川健竜 (訳)『先住民 vs. 帝国 興亡のアメリカ史 北米大陸をめぐるグローバル・ヒストリー』(ミネルヴァ書房、2020年)、177-88頁。
- ・「エネルギーからすべてのものの歴史を語る——デイヴィッド・クリスチャン (柴田裕之訳)『オリジン・ストーリーズ——138億年全史』(筑摩書房、2019年)」世界史研究所ホームページ、2020年4月1日掲載 (<https://riwh.jp/2020/04>)。
- ・「参考文献」(更新) 有賀夏紀・紀平英作・油井大三郎編『アメリカ史研究入門』(第1版3刷) (山川出版社、2020年)、274-351頁。

遠藤泰生

[その他の執筆]

- ・「アメリカ研究関係の資料整備・高木文庫のデータベース化・国際ワークショップの開催」『公益財団法人 アメリカ研究振興会 会報』第80号 (2020年2月) 3頁。
- ・「David Armitage “The Oceanic Turn: A Turn for the Better?” が語る新しい海の歴史 (the New thalassology) の可能性」『アメリカ太平洋研究』第20号 (2020年3月) 213-14頁。

[学会活動等]

- ・アメリカ学会理事
- ・初期アメリカ学会理事
- ・ *Journal of American History*, International Contributing Editor
- ・ *Journal of American Studies* (Sydney U.), International Advisory Board
- ・アメリカ研究振興会評議員

中野耕太郎

[学術論文]

- ・「移民史論」、「ナショナリズム論（南北アメリカ・西欧からのアプローチ）」、「革新主義とニューディール」を担当。金澤周作監修『論点・西洋史学』（ミネルヴァ書房、2020年）、212-13、228-29、258-59頁。

[学会活動等]

- ・コメント：CPAS シンポジウム「分断のアメリカを展望する」、Zoom ウェビナー、2020年10月3日。
- ・『西洋史学』（日本西洋史学会）編集主任幹事
- ・『パブリックヒストリー』編集委員
- ・『アメリカ史評論』（関西アメリカ史研究会）編集委員
- ・『20世紀研究』編集委員
- ・NHK 高校講座世界史 監修・出演
- ・第24回「アメリカ合衆国の独立とフランス革命」（2020年10月23日）／第27回「アメリカ合衆国の発展」（2020年11月13日）／第32回「第二次世界大戦」（2020年12月18日）、担当。
- ・アメリカ学会理事
- ・史学研究会評議員

[その他の執筆]

- ・「黒人男性暴行死 抗議デモ拡大——格差是正 米政策の転換期」（インタビュー記事）『読売新聞』2020年7月28日、大阪版、夕刊、2面。

瀬地山角

[書籍]

- ・『炎上CMでよみとくジェンダー論』（光文社、2020年）。
- ・コロナ禍の影響で、科研費に基づく東アジアの研究を進めることができず、その分既存の案件だった、CMを題材とするジェンダー論の一般書の企画を早く終わらせることができた。学術書ではないが、素材はCMという一次資料なので、最低限の価値はあるのではないかと考えている。

森山貴仁

[学術論文]

- ・「“Get the ‘Little Man’ to Do His Share in National Campaigns”: Debates over Campaign Finance Reform, 1961-1974」『同志社アメリカ研究』第56号（2020年3月）、1-25頁。
- ・「政治が世代を語るとき——1960年代保守主義からみた若者世代」『立教アメリカン・ス

『タデーズ』第42号(2020年3月)、51-67頁。

- ・「保守主義運動と政治献金革命——1964年大統領選挙におけるダイレクトメール戦略」『アメリカ研究』第54号(2020年4月)、89-109頁。

[学会活動等]

- ・報告：「政治が世代を語る時——ニューライトからみた若者世代」立教大学アメリカ研究所シンポジウム「ミレニアル世代をめぐる想像力」、立教大学、2020年1月26日。
- ・報告：「ポピュリズムとプライバシー——1977年個人情報保護調査委員会レポートの分析」関西アメリカ史研究会第257回例会、京都大学、2020年2月2日。
- ・報告：「サンベルトの青い郊外——トランプ政権期におけるカリフォルニア州オレンジ郡」CPASシンポジウム「分断のアメリカを展望する」、Zoomウェビナー、2020年10月3日。

[その他の執筆]

- ・「黒人男性殺害デモ、アメリカの「保守運動」の歴史から見えること」『現代ビジネス』2020年6月14日。
- ・「分断進む社会 「共感」が鍵」(インタビュー記事)『高知新聞』2020年10月28日、8面。

藤田将史

[学術論文]

- ・「[有効性の低い国際制度]の有効性——国内機能としての批判回避」『年報政治学』第2020-I号(2020年6月)、393-415頁。

[学会活動等]

- ・報告：「米国市民の国際貿易協定に対する反発——一般的信頼による貿易選好の形成」第67回駒場国際政治ワークショップ、Zoomミーティング、2020年7月22日。
- ・報告：「A Matter of Trust: Why do U.S. Citizens Oppose International Trade Agreements?」日本国際政治学会2020年度研究大会、Zoomウェビナー、2020年10月25日。
- ・日本国際政治学会2020年度研究大会実行委員